

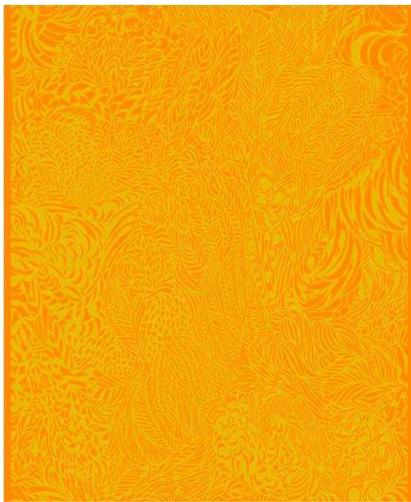
茨城県陶芸美術館 企画展

マリメッコ・スピリッツ

Finland Meets Japan

プレス・リリース

平成30年4月21日(土)~7月1日(日)



光の輪 Aureoli(アウレオリ)2017
パーヴォ・ハロネン



桜の花の雨 Kirsikankukkasade
(キリシカンクッカサデ)2017
マイヤ・ロウエカリ



苔寺 kokedera(コケデラ)2017
アイノ=マイヤ・メツォラ

茨城県陶芸美術館

〒309-1611茨城県笠間市笠間2345番地 (笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011/FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

同時開催



日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念展

フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア

コレクション・カッコネン

1 展覧会名 マリメッコ・スピリッツ Finland Meets Japan

2 開催趣旨・内容

A：一言でいうと（86文字）

マリメッコの現在を支える3人のデザイナーが、この展覧会のために「JAPAN」をテーマに新作パターンを創作しました。彼らの仕事と作品を通して、マリメッコの思想を読み解きます。

B：もう少ししていないにいうと（227文字）

マリメッコの現代を支える3人のデザイナーが、この展覧会のために「JAPAN」をテーマに新作パターンを創作しました。日本に一度も来日したことのない彼らのインスピレーションがどのようにして生地になるのか、アイデアラフなどを交えて創作活動を披露します。加えて、彼らの代表作も紹介しながら、マリメッコに受け継がれるデザイン思想とスピリットを読み解きます。また、会場内には、マリメッコデザイン監修による茶室「真理庵」が建てられ、日本とフィンランドの出会いを演出します。

C：詳細にいうと（314文字）

戦後復興最中のフィンランドにおいて、1951年にアルミ・ラティアによって創設されたマリメッコは、初期から今日まで優秀なデザイナーを招聘し、彼らに自由な創作の場を提供することで革新的なテキスタイル・デザインを生み出してきました。「マリメッコ・スピリッツ Finland Meets Japan」展では、マリメッコの現代を支える3人のデザイナー パーヴォ・ハロネン、マイヤ・ロウエカリ、アイノ＝マイヤ・メッツォラが本展のために「JAPAN」をテーマに創作した新作パターンを披露します。日本に一度も来日したことのない彼らのインスピレーションがどのように生地として完成するのか、アイデアラフなどを交えて創作活動を紹介するとともに、彼らの代表作も紹介しながらマリメッコに受け継がれるデザイン思想とスピリットを読み解きます。また、会場内には、マリメッコデザイン監修による茶室「真理庵」が建てられ、日本とフィンランドの出会いを演出します。

3 展示構成・見どころ

I 現代を代表する3人のデザイナーが新作パターン「JAPAN」を発表

－パーヴォ・ハロネン、マイヤ・ロウエカリ、アイノ＝マイヤ・メッツォラ－

日本に一度も来日したことのない、フィンランド生まれフィンランド育ちのパーヴォ・ハロネン、マイヤ・ロウエカリ、アイノ＝マイヤ・メッツォラら三人が、あえて「JAPAN」というテーマで新作パターンに挑戦しました。彼らのインスピレーションから生まれた「JAPAN」の原形となるアイデアラフなどを展示するとともに、高度な技術と情熱を持ったマリメッコの専門家たちの手によってそれらがパターン化され、生地として完成する工程の一端もご覧いただけます。

II デザイナーの創作活動の舞台裏を紹介

3人のデザイナーがマリメッコのために創作した代表パターン各4点をはじめ、その原画やアイデアスケッチ、作家のインタビュー映像などを通して三者三様の個性を紹介し、彼らの創作活動に迫ります。また、65年以上もの間不変的に受け継がれてきた、彼らのなかに共通する「マリメッコの精神」とは何かを俯瞰します。

III マリメッコが「茶室」をデザイン

本展では、日本発の茶室文化とマリメッコのデザインが会う新しい茶室空間を創出します。マリメッコのプロダクトデザイナーが、茶室のファブリックや道具をコーディネートし日本の伝統文化とフィンランドのデザインの融合を試みます。また、関連イベントとしてマリメッコの茶室でのお茶会を開催します。

出品総数 約130件

4 主な作品

新作パターン「JAPAN」

- ① 光の輪 (2017) パーヴォ・ハロネン Marimekko
- ② 桜の花の雨 (2017) マイヤ・ロウエカリ Marimekko
- ③ 苔寺 (2017) アイノ=マイヤ・メツツォラ Marimekko
マリメッコのためのデザイン
- ④ Ruusuruoho (2016) パーヴォ・ハロネン Marimekko
- ⑤ Siirtolapuutarha (2009) マイヤ・ロウエカリ Marimekko
- ⑥ Juhannustaika (2007) アイノ=マイヤ・メツツォラ Marimekko

5 会期・会場等

会 期：平成30年4月21日(土)～7月1日(日) (62日間)
会 場：茨城県陶芸美術館 2階県民ギャラリー
開館時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日：月曜日(ただし4月30日(月)は開館)

6 主催・後援・助成等

主催：茨城県陶芸美術館
特別協力：マリメッコ、公益財団法人ギャラリーエークウッド、
公益財団法人DNP文化振興財団
企画協力：S2株式会社
協賛：株式会社常陽銀行
後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター

7 観覧料

一般820(670)円／高大生620(510)円／小中生310(260)円
* ()内は20名以上の団体料金。障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方[ただし1人につき1人まで]は無料。土曜日は高校生以下無料。

8 関連催事(同時開催展 フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピアと共通です。)

* 詳細はイベントチラシ、ホームページ等でご確認下さい

- オープニングイベント ※展覧会チケットが必要です。
平成30年4月21日(土) セレモニー14:00～ 講演会15:00～
当館1階多目的ホール、地階企画展示室
ホールでのセレモニーの後、ハッリ・カルハ氏の講演会を実施します。どなたでもご参加いただけます。
定員：120名(先着順)
- スペシャルワークショップ「ヒンメリをつくろう」
平成30年4月24日(火)、25日(水) 10:00～15:00 ※12:00～13:00は、昼食休憩
講師エイヤ・コスキ(ヒンメリ・アーティスト)
定員：各日30名(先着順 電話で事前予約受付有り)
- 講演会「フィンランドのアラビア窯—カイ・フランクそして日本」
平成30年5月5日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師：山口敦子氏(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)
定員：120名(先着順)
- 講演会「親子で見たフィンランドの学びとは」
平成30年5月12日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師：茂田里加氏(フィンランドセンター オフィスマネージャー)
定員：120名(先着順)
- 講演会「フィンランド豊かさのメソッド」
平成30年5月19日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師：堀内都喜子氏(フィンランド大使館 広報部 プロジェクトコーディネーター)
定員：120名(先着順)

- 裏千家 海老澤宗香氏によるマリメッコお茶会
 会場のマリメッコ茶室にて、裏千家 海老澤宗香氏にお茶会を開いていただきます。
 平成30年5月3日(木)、5月4日(金)
 午前の部 10:00~11:45 午後の部 13:00~14:45
 定員：120名（先着順 ※電話で事前予約受付有り）
 場所：当館地下1階マリメッコ茶室
- ギャラリー・トーク 平成30年5月26日(土)・6月9日(土)・6月24日(日)
 いずれも13:30～ *要企画展チケット

9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611笠間市笠間2345番地（笠間芸術の森公園内）

TEL.0296-70-0011/FAX.0296-70-0012

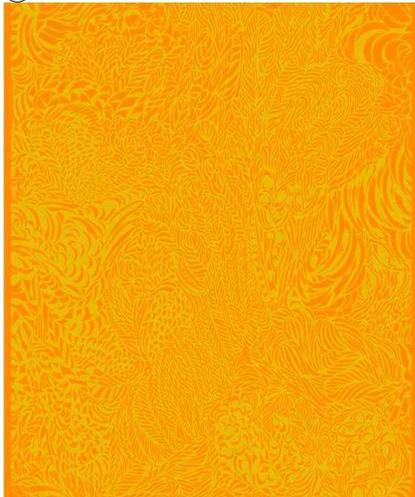
展覧会担当 学芸課 柳田 高志 yanagida.takasi@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 福家 佳奈 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

※主な作品写真データ

広報担当の E-Mail アドレス kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp までご連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。写真を掲載する際には“4 主な作品”に記載されている、それぞれの作品キャプションを併記してください。

①



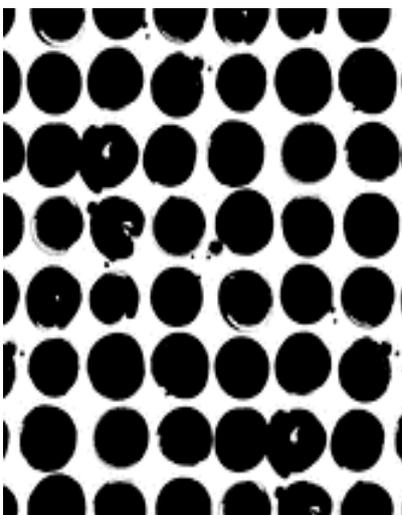
②



③



④



⑤



⑥



